

= 普及情報 =

No. 21

令和元年10月8日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題 神在ねぎ栽培講習会を開催

(ダイジェスト)

9月24日、JAしまね出雲神在ねぎ部会の栽培講習会・情報交換会が開催されました。
これからの栽培管理のポイントを確認するとともに、その後の情報交換会では参加者全員で昨年より早い12月出荷に向けて意欲を高める場となりました。

JAしまね出雲神在ねぎ部会は、全農オリジナル品種の「あじぱわー^{かみあり}」を栽培し、「神在ねぎ」として販売しています。

神在ねぎの名前の由来は、最初の栽培を神西という地区で行ったこと、出荷時期が旧暦の神在月頃から始まる事によります。太くて甘みが強く、葉の部分まで軟らかく食べられることが特徴で、現在では関西を中心に冬期限定のブランド商品になっています。

また昨年に部会全員で美味しまね認証を取得し、農産物の安全・安心に対する消費者のニーズにも対応しているのも販路拡大を後押ししています。

反面、軟らかいという特性上、病気や害虫の被害を受けやすく、加えて葉も食用として多く残すことから栽培管理や収穫、調整に多くの労を要するため巡回指導や、多発している病害虫情報を提供するとともに（「神在ねぎ情報」下写真）、栽培講習会を開催し、土寄せ、追肥のタイミングなど適切な管理を呼びかけています。

講習会では普及部から今後の栽培管理について注意点を説明し、販売面では、昨年豊作であったにも関わらず暖冬の影響で消費が落ち込むなど苦戦した年であったため、講習会後の情報交換会では生産者やJA職員が生育情報を共有し合い、昨年より早い12月出荷に向けて意欲を高めました。

当農業普及部としても、適期作業の励行をはじめ、新品種の導入やGAPの管理など関係機関と連携し安定生産、品質向上に取り組んでいきます。

神在ねぎ情報
台風接近に伴う対策

大型の台風17号が接近しています。今後の台風情報に注意し、被害を最小限に食い止めるよう、対策を実施してください。

- ねぎの圃場に支柱を立てて根を揺る、多めに土寄せを行う等、倒伏対策を行いましょう。
- 圃場の立降りに備えて傾斜向きへの平置きをしてください。倒きよみからの除草を実施してください。
- 圃間溝、溝溝に水がたまっている場合は圃場外に水が流れるように手直ししてください。
- 排水設備、排水が可能なようになったら倒伏をすぐに直し、被害予防対策を行います。

下記の業務を参考に実施を行ってください。

圃場名称	作業内容	作業時期	作業回数	実施時期
スラット水耕	2,000株/畝	2回	2回	10月
スラット水耕	1,000株/畝	2回	2回	10月
スラット水耕	1,000株/畝	2回	2回	10月

神在ねぎ情報
軟腐病発生

軟腐病が発生しています。軟腐病は、初期は葉の裏面に黒い斑点が現れますが、徐々に葉の裏面に黒い斑点が広がり、葉が腐敗して枯死します。軟腐病の原因は、細菌による感染です。軟腐病は、軟腐病菌が葉の裏面に侵入し、葉の組織を腐敗させます。軟腐病は、軟腐病菌が葉の裏面に侵入し、葉の組織を腐敗させます。軟腐病は、軟腐病菌が葉の裏面に侵入し、葉の組織を腐敗させます。

圃場名称	作業内容	作業時期	実施時期
スラット水耕	2,000株/畝	2回	10月
スラット水耕	1,000株/畝	2回	10月
スラット水耕	1,000株/畝	2回	10月

「神在ねぎ情報」
左 台風対策について
右 軟腐病に対する注意喚起

担当者 出雲地域振興第二課 須田大智 TEL0853-30-5597